

みんながやさしい笑顔になれました

【特集2】

第5回全国障害者スポーツ大会 輝いておかやま大会

国体秋季大会の卓球・軟式野球競技に引き続き、11月5日と6日にきびアリーナで、全国障害者スポーツ大会の卓球競技が行われました。選手をはじめ、ボランティア、そして応援した人みんなが笑顔になれた大会となりました。ここでは、大会の様子を写真などでお知らせします。



①駅案内所②選手来場③車イスふき④ももっち出迎え⑤岡紀彦選手宣誓⑥開始式⑦場内の手話放映のための生中継⑧一般卓球遠征⑨S T T⑩手話⑪応援⑫手書き要約筆記⑬PC要約筆記⑭コンディショニングルームで調整⑮皇太子殿下の卓球視察⑯皇太子殿下をお見送り⑰ふれあい広場⑱ドリンクコーナー⑲盲導犬お疲れさま⑳表彰式㉑選手との記念撮影㉒ボールパーソン

ずっと走り続けます



陸上競技短距離走で金・銀のメダルを獲得した総社市出身・河合裕子選手
昨年の埼玉大会は銅メダル。悔しさをバネに練習して獲得した金メダルは格別だ。走ることが好きなのでおぼろげながらも走り続けたい。

感謝の言葉に達成感



会場入口で車イスの車輪拭きをした総社西中学校2年生・山崎慶一郎さん
選手の目を見てあいさつを心掛けた。車輪の接地面をふくのに苦労した。選手の感謝の一言にその苦労も吹き飛んだ。また参加したい。

習得技術を活かしたい



聴覚障害者向けの会場内文字放映でパソコン要約をした・田邊裕美さん
パソコンの打ち込みの速さと要約力を1年半かけて磨いてきた。これが最後というのではなく、身に付けた技術を高齢社会のためにも役立てたい。

レベルの高さに圧巻



車イス選手にプレー中ボールを手渡しした総社中学校1年生・井上創太さん
初めての経験だったので最初は戸惑ったが、一生懸命ボールを拾いに行った。選手とプレーは、障害者とは思えないぐらいすごかった。

全国の人と手話で交流



試合中に選手、監督、審判間の手話通訳をした・松本志保美さん
手話技術はまだまだ未熟な私ですが、他県の人と交流できたのはうれしかった。全国の人と手話で話したい。

◎インタビュー 5人の方に聞きました

大会2日目、皇太子殿下がきびアリーナを訪れ、S T Tや一般卓球をご視察されました。午後2時、大勢の市民の歓迎の中、到着した皇太子殿下は、会場で大会役員からの説明に耳を傾けながら、選手には応援のお言葉を掛けられるなど熱心にご視察。会場を訪れた大勢の観客にも笑顔で手を振られました。ご視察を終えた皇太子殿下は、大会役員や幼稚園児らの見送りにも笑顔で応え、会場を後にされました。

大会2日目、皇太子殿下がきびアリーナを訪れ、S T Tや一般卓球をご視察されました。午後2時、大勢の市民の歓迎の中、到着した皇太子殿下は、会場で大会役員からの説明に耳を傾けながら、選手には応援のお言葉を掛けられるなど熱心にご視察。会場を訪れた大勢の観客にも笑顔で手を振られました。ご視察を終えた皇太子殿下は、大会役員や幼稚園児らの見送りにも笑顔で応え、会場を後にされました。

大会2日目、皇太子殿下がきびアリーナを訪れ、S T Tや一般卓球をご視察されました。午後2時、大勢の市民の歓迎の中、到着した皇太子殿下は、会場で大会役員からの説明に耳を傾けながら、選手には応援のお言葉を掛けられるなど熱心にご視察。会場を訪れた大勢の観客にも笑顔で手を振られました。ご視察を終えた皇太子殿下は、大会役員や幼稚園児らの見送りにも笑顔で応え、会場を後にされました。

5 回目を数える全国障害者スポーツ大会。11月5日の桃太郎スタジアムでの開会式の後、総社市では同日午後からと6日、卓球競技（一般卓球とサウンドテーブルテニス「S T T」）が行われました。全国から集まった297人の選手は、障害区分と年齢区分ごとのブロックに分かれて、リーグ戦で競いました。大会期間中、手話・手書き要約筆記・パソコン要約筆記・介助などの多くのボランティアの皆さんが大会をサポート。交流の輪は大きく広がり、大会は成功のうちに無事終了しました。